



地球にやさしく
人にやさしく

◇3◇

小松電機産業は高速シートシャッターと集落排水計測制御監視システムの二枚看板で積極的な全国展開を進めている。中央監視装置が不要であらゆる処理方式に対応できる上下水道管理システムを発売したばかりだ。

「環境問題は社会環境と自然環境という二つの視点から考えなければ解決には

ならない。しかも相關関係を持って」と、小松昭夫社長は話す。94年にHNS(人間、自然、科学)研究所を設立し環境問題に正面から取り組んでいる。出版やシンポジウム、提言など幅広い活動がそれ。23日に島根県民ホールで公演する演劇「再開」も活動の一環である。

HNSのコンセプト「環

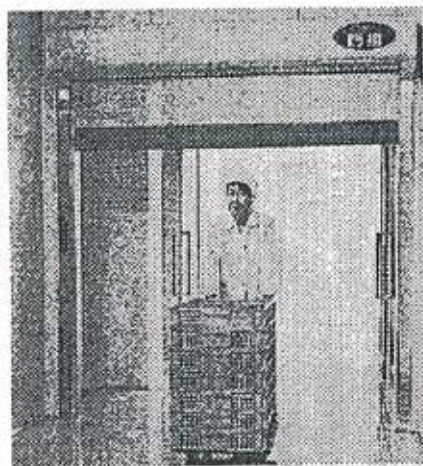
境」をベースにして、電気通信と制御技術で製品化したのが「エクセレント門番 KUシリーズ」5機種、「オプトロン門番シリーズ」5機種の高速度シートシャッターと、集落排水計測制御管理システム「やくも水神」。

高速シートシャッターは85年の販売以来、累計7万5000台を超え、シートシャッター市場の約70%を占めるヒット商品。サイクロエンジンを搭載し落下事

小松電機産業

社会・自然環境を研究

製品開発に成果生かす



高速シートシャッター
「エクセレント門番」

故がなく安全なのが特徴だ。工場の環境改善や品質管理、省エネなどに効果があつた。オプトロンは昆虫を誘引する光をカットし虫の飛来を防ぐHACCP(危害分析重要管理点)対応の防虫シートシャッターだ。

一方、上下水道管理システム「新水神ネットワークシステム」は集落排水計測制御監視システム「やくも水神」を進化させた携帯電話のiモードサービスを活用してインターネットと結合してシステム。機器100台を超える大規模システムの監視制御にも対応する。市町村などが独自に設置する中央監視装置を不要とした。

「人口30000〜50000人規模対応の設備費を約2分の1の2億5000万円に抑えることができる。人口規模が多ければ多いほど削減幅は大きくなる」(小松社長)という。同時に情報蓄積・解析・配信サービスや遠隔監視・制御、リモート保守サービスなどの監視サービスも始めた。

「情報技術(IT)の進展により、全国展開のインフラが整った。ネットワークの構築、提携を進め国内外に広めたい」(同)という。

(松江市乃木福富町73
5の188、0852・3
2・3636)